

令和4年度第11回 伊豆市教育委員会会議録

期 日 令和5年2月27日（月） 午前9時30分から午前11時30分まで

会 場 中伊豆支所2階 教育委員会室

出席者 佐藤雅彦委員、西尾真澄委員、梅原一仁委員、猪股園恵委員

梅原賢治教育長

委員及び傍聴人以外の出席者

教育委員会教育部

部長 小塚 剛、学校教育統括監 室野行宣、学校教育課長 塩谷俊一、

社会教育課長 永沼健一、学校教育課主幹 鈴森正敏、

学校教育課主査 駒坂たえ子

1 開 会 （梅原教育長）

2 前回会議録の承認

教育委員確認の後、承認された。

3 教育長報告

教育長より、以下の項目について資料に基づき報告及び説明がされた。

（1） 前回教育委員会以降の主な行事等

2月1日 私立高校入試、管理職人事評価面談

2日 私立高校入試、田方教員研修協議会

5日 田方文化祭

8日 伊豆市校長会

10日 サントリー美術館・川端龍子記念館訪問

14日 静東教育事務所長教育長面談

20日 伊豆市教育センター総会

27日 定例教育委員会

27日 静東教育事務所報告

（2） 市内小中学校の様子について

<児童生徒について>

新型コロナウイルス感染症の状況について

- ・2月に入り、感染者数は減少傾向がみられる。一方でインフルエンザについては他市町に比べて罹患率が高い状況となっている。

生徒指導に関すること

問題行動

- ・複数の学校でネットが関係する問題行動が報告されている。

不登校について

- ・今回も学習支援教室「いごこち」への出席報告がいくつかある。
- ・中学3年生の進路について、各学校から報告されている。

その他

- ・学級閉鎖の期間中にタブレット端末を使って、健康観察、レクリエーション、社会の授業を実施した学校があった。今後は自宅での学習にタブレットを活用することが当たり前になってくると良いと思う。
- ・中学校で、閉校式へ向けての第1回の会合が開催された。

教育委員：今回も、学校でのトラブルの報告があるが、問題行動のある児童やその保護者に対して、学校はどのような指導をしているのか。我々が当たり前のように考える中で「それは駄目です」ということが、今の子どもや保護者に通じないことがあるのはなぜなのだろうと思う。担任の先生だけではなく、学校として話し合っていると思うが、学校では常識というものをどのように捉えて保護者と話をすればよいのかは、すごく難しい問題だと感じる。

教育委員：言い方によって、良くも悪くもなることはあると思う。この言葉を発したら相手がどのように思うかをよく考えてから話をした方が良いということは常々感じている。間違っていることでも、子どもの時に正すことができないと、大人になった時に同じような間違っただ行動をしてしまうことが心配される。

統括監：昔に比べて世の中の価値観は大きく変わってきている。子どもたちの行動が、大人の意見や考え方に影響を受けることが多く見受けられる。考え方や価値観がずれている場合、理解し合うことは難しい。

教育委員：校則を作って「〇〇は禁止」とすると、今度はブラック校則だと言われる。決まり事に対して批判の声があっても校則で定めている理由や正当性をしっかりと相手に説明できるように考えて作っていく必要がある。

教育長：時間はかかるが、校則は学校や教育委員会が一方的に押し付けるのではなく、子ども達が自ら考えて決めていくことの方が本当は重要なのだと思う。教員も幅広い年代がいるので、教員一人ひとりによって、事案に関する対応の仕方も様々である。教員も日々悩みながら対応していると思う。

教育委員：それぞれの家庭や価値観に違いはあるが、異なる価値観に影響されないような、常識の核となる部分をそれぞれの家庭が持っているということが大事だと思う。偏った意見、考え方に影響されないことが大事である。

教育委員：周囲に親身になって話を聞いてくれる人たちがいるのに、その人の意見は聞かずSNSなど相手が誰なのかも分からない人の書き込みを信じてしまう人が多いような気がする。

教 育 長：自分の都合のいい意見だけは受け入れて、自分が嫌だと感じる意見は聞かないのだと思う。

(3) 今後の予定

- 3月2日 公立高校入試
- 3日 公立高校入試
- 5日 川端康成没後 50 年記念行事、ふれっぷ水泳記録会
- 6日 伊豆市臨時校長会
- 8日 伊豆市校長会
- 11日 伊豆文学まつり
- 12日 伊豆文学フェスティバル
- 14日 公立高校合格発表
- 16日 修了式、スポーツ審議会
- 17日 市内各学校卒業式、修了式
- 18日 狩野川桜マラソン
- 22日 新中学校建設安全祈願祭
- 24日 田方地区一斉転入者訪問日

※ 卒業式 3月17日 教育委員会告辞を小・中・義務教育学校で実施

※ 入学式 4月7日 教育委員会告辞を小・中・義務教育学校で実施

次回教育委員会予定 3月28日、29日、30日

次々回教育委員会予定 4月25日、26日、27日

4 議事

議案第 41 号 伊豆市修善寺・中伊豆・天城地区新中学校開校準備委員会からの第二次答申に伴う教育委員会の方針決定について

- ・学校教育課長より、校名について、投票結果を踏まえて新中学校開校準備委員会で検討した結果、他の候補に比べて獲得票が多かった点や全国的にも知名度がありシンプルで読みやすくわかりやすい名称であるという点などから「伊豆中学校」が適当であるという内容で2月3日に答申されたことを説明する。また、この答申に伴う教育委員会の方針を決定していただくことについて、説明する。

教 育 長：校名については、最終的に教育委員会で決定をするということである。意見等があれば発言をお願いしたい。

教 育 委 員：これから、「伊豆中学校」が名前だけではなく、中身も含めて皆に愛される学校になるということが大事だと思う。

教 育 委 員：「伊豆」という名称は温泉地としても全国的に有名であり、その伊豆の中央に位置する伊豆市にある中学校ということで、全国的に伊豆市が注目していただけるよ

うになれば良いと思う。良い校名だと思う。

教育委員：多くの方が選んでくれた名称であり良いと思う。

教育長：校名選定の経過を見てもらえば分かると思うが、非常に丁寧に進めてきた。当初の予定では投票結果を参考に開校準備委員による投票を行う予定であったが、「児童生徒」、「保護者」、「教職員」、「一般（伊豆市民）」のいずれでも、「伊豆中学校」の得票数が他の候補を大きく上回っていることもあり、開校準備委員による投票は行わず、得票数が1位だった「伊豆中学校」を開校準備委員会でも校名候補とすることで決定した。この決め方についても問題ないと考えてよいか。

教育委員：開校準備委員の皆さんも「伊豆中学校」が良いと考えてくれた結果だと思う。伊豆市の代表になるような学校としても期待したい。伊豆市が一つになるという意味が皆に浸透して、三つの中学校の生徒が集まっても学校が一つにまとまると良いと思う。

教育長：新中学校の名称として、良い名前が選ばれたと自分は思っている。教育委員会として「伊豆中学校」を承認することで良いか。

上記意見交換の後、特に異議が無く、承認された。

議案第 42 号 伊豆市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める規則の一部改正について

- ・学校教育課長より、昨年9月に県内の認定こども園の送迎バスの車内での幼児置き去り事案を受けて、国が児童福祉施設を中心に設備及び運営に関する省令を見直したことに伴い、市の放課後児童クラブの設備運営に関する基準の規則についても改正する必要が生じたこと、改正の内容として、各事業所の活動や感染症等の対応に際して児童の安全を確保する計画を策定することや児童の移動のために自動車を運行する場合の乗降時の児童の所在確認を行うこと等に関する条項を加えたことについて、説明する。

教育長：昨年、県内で起きた置き去り事案のようなことはあってはならない。子どもの所在が分からなくなることはどこでも起こり得る話である。所在の確認は保護者も気を付けなくてはならない問題である。

教育部長：安全計画は令和5年度から策定が求められるが、計画を策定したかどうかは市が確認するのか。計画等のひな形は国から示されているか。

学校教育課長：安全計画の策定については、厚生労働省から、必要な内容を明記する様式等が示されている。各事業所はそれを参考にしながら作ることになる。市が定める規則のため、事業所が策定した計画等は市が内容を確認する。

上記意見交換の後、特に異議が無く、承認された。

議案第 43 号 令和 4 年度準要保護児童生徒の認定について

- ・学校教育課長より、児童扶養手当の受給世帯に該当する別添資料に記載した 4 名を新たに準要保護児童生徒として認定することについて説明する。

上記説明の後、特に異議が無く、承認された。

議案第 44 号 令和 5 年度教育委員会所管の工事計画について

- ・学校教育課長より、1 件 130 万円以上の工事 15 件の計画策定について、説明する。
- ・社会教育課長より、1 件 130 万円以上の工事 2 件の計画策定について、説明する。

上記説明の後、特に異議が無く、承認された。

議案第 45 号 教育財産の取得について

- ・学校教育課長より、1 件 80 万円を超える教育財産 5 件の取得の申出について、説明する。

上記説明の後、特に異議が無く、承認された。

議案第 46 号 県費負担教職員の任免等の内申について

- ・学校教育統括監より、別添資料に基づき説明する。

上記説明の後、特に異議が無く、承認された。

5 報告・連絡事項

<社会教育課から>

社会教育課 3 月行事予定について

- ・社会教育課より、3 月の行事予定について説明する。

6. 意見交換

- ・特になし。

7. その他

- ・教育長より、3 月の卒業式及び 4 月の入学式の出席割振りと教育委員会告辞について説明する。
- ・教育長より、3 月 9 日の新中学校開校準備委員会について、教育委員に出席依頼の通知を出すことについて説明する。

8. 次回教育委員会

- ・次回 令和5年3月29日(水) 9時30分 中伊豆支所

9. 閉 会 (梅原教育長)